

## 道路の管理・環境整備について ～道路安全施設である歩道の整備を！～

Q. 東岩槻小学校の西側歩道は、桜山中学校の通学路にもなっており、多くの児童生徒が通学している。特殊車両の通行もあり、危険な状況となっている。

大六天橋の西側は、河合小学校の通学路となっているが、大六天橋西側部分のみ歩行空間が狭く危険な状態である。

これらの通学路に対する歩道の整備が必要と考えるが、市の見解を聞きたい。

A. 東岩槻小学校の西側道路については、幅員が狭く、児童・生徒が通学路として利用していることは認識している。当該箇所を拡幅し、整備するためには東岩槻小学校の学校敷地を活用することが必要であることから、教育委員会ほか関係部局と調整して行きたい。

河合小学校の通学路については、地域の方々から東北自動車道を跨ぐ大六天橋東側道路の安全対策の要望を受け、平成26年に歩道整備工事を完了した。西側については、歩道が無い道路であることから、平成26年度の工事に合わせ、現道の幅の中で区画線の更新やグリーンベルトの設置を実施した。西側に歩行空間を整備するためには、法面になっている道路用地を有効活用することで、可能になると考える。

地域の方々のご意見を伺いながら、順次検討を進めて行き、通学路の安全対策に努めて行く。

東岩槻小学校西側歩道



大六天橋西側



## 都市計画道路について ～東川口駅越谷線・西町諏訪線の現状を確認！～

Q. 東川口駅越谷線・西町諏訪線の元荒川を渡る未整備箇所について、存続候補路線として変わりがないか都市計画の現状を伺う。

A. 東川口駅越谷線は平成4年2月に埼玉県が都市計画決定を行った、川口市東川口4丁目から岩槻区釣上新田を経て、越谷市谷中町2丁目に至る総延長3.3km幅員16mの都市計画道路であり、本市分は約240mである。この路線は「周辺市との交流拡大」という指標で評価しており、道路網を形成するために必要な路線と位置付けている。このため、道路網形成プログラムでは、存続候補路線に分類しており、都市計画としては存続している状況である。

西町諏訪線は、都市の健全な発展と秩序ある整備を図るため、昭和63年7月と平成元年4月に、他の都市計画道路との交差点部の幅員を拡幅する都市計画変更を行い現在に至る。「市街地開発事業との整合性」と「鉄道駅周辺の歩行者、自転車の歩行空間の確保」という指標で評価しており、道路網を形成するために必要な路線と位置付けている。このため、道路形成プログラムでは、存続候補路線に分類しており、都市計画としては存続している状況である。

## 浸水対策について ～河川と下水道が連携した取り組みを～

Q. 岩槻区の金重地区（東海団地）・小溝地区（小林住宅）の浸水対策と污水整備の予定について伺う。

A. 浸水対策を進める上では、河川と下水道が連携することは大変重要であると認識している。岩槻区の金重地区の東海団地については平成29年度より浸水対策の方針を策定、今年度は排水路整備の詳細設計業務及び地質調査業務を行っている。また、この地区の污水整備については、今年度実施計画が完了し、現在、推進工事を行う立坑箇所の土壌調査を行っている。今後、土壌調査が完了次第、詳細設計を行い、順次工事に着手して行く予定。

小溝地区における浸水対策については、小溝調整池内にあるポンプの更新工事を今年度実施している。今後は、一級河川古隅田川を管理する埼玉県と協議の上、放流先からの逆流防止のため、フラップゲートの設置について検討していく。また、污水整備については平成29年度に工事着手し、これまでに三角公園より南側の地区が完了している。北側の地区については今年度より工事に着手しており、計画的に整備を進めて行く予定である。

市内、特に岩槻区内の浸水対策については、放流先の県管理の一級河川の整備状況の影響を受けることから、「埼玉県・さいたま市（河川・下水道）事業調整協議会」等を通じて、河川の早期整備の要望及び相互の事業進捗把握を行い、連携を密に図っていききたい。



**新型コロナウイルスワクチン接種に関する問い合わせを受け付けます。**

さいたま市コロナワクチンコールセンター

電話番号：0570-028-027 FAX 番号：0570-020-810

受付時間：午前9時～午後5時（土、日、祝日も含む）



詳細はこちらでも  
ご覧頂けます。

